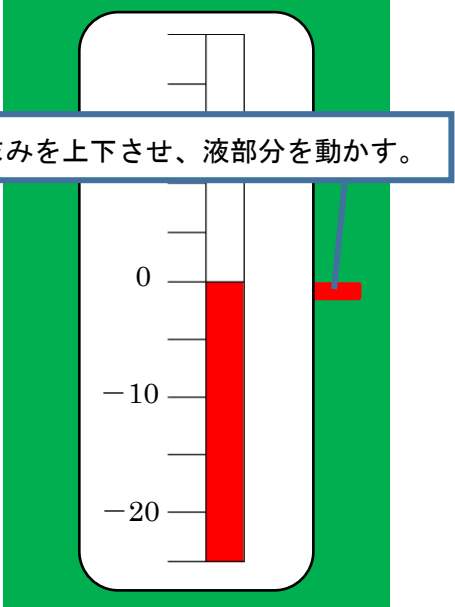
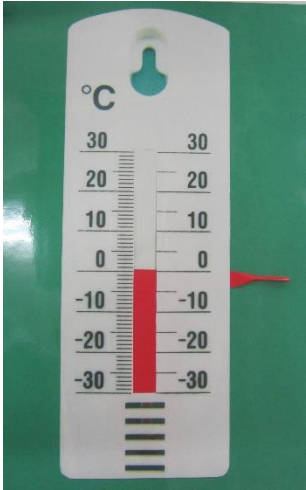


自作教具の活用事例

【作品名】 正の数、負の数の計算 ～温度計を使って～	【学校名】 日立市立多賀中学校
【活用できる領域・教科等】 数学	【制作者名】 山崎 枝里子
【制作の意図】 中学校1年生「正の数、負の数の計算」の学習において、生徒が身近に感じられる事象を活用して正の数、負の数の概念と加法、減法について理解を深めるための一助とする。	【使用方法】 正の数、負の数の加法、減法の学習において、数直線の代わりに気温計を活用する。
【制作上の工夫】 液体気温計の液部分を、つまみをスライドさせて上下できるような工夫をした。実際に温度の上昇、低下を操作しながら、加法を気温の上昇、減法を気温の低下に置き換えて計算できるようにする。	【見取り図】  A 4 サイズの用紙に印刷し、ラミネート加工。
【写真】 	【使用効果と応用発展】 気温の上がり下がりや、0より小さい数があること、その数を－（マイナス）を使って表すことは、日常の生活で体感的に理解している。そのことを生かして、実際に気温計を操作しながら考えることは生徒の理解を深めるための一助となった。
【材料・材質・部品等】 気温計の画像データ 色画用紙 竹ひご、ストロー	